

まんが なすびのギモン シリーズ第5弾が発行されました！



**新刊** まんが なすびのギモン 除去土壌のこれまでとこれから編

除染や放射線に関する情報をわかりやすくお伝えする『まんが なすびのギモン』シリーズの『除去土壌のこれまでとこれから編』を発刊しました。

本編では、福島県出身の俳優・タレントのなすびさんがまんがのキャラクターとして登場し、福島県内の除染で生じた除去土壌のこれまでの経緯について震災の発生から振り返り、これからの課題や取り組みについて登場人物と対話をすすめながら紹介します。

**！まんがでわかりやすく！**

取り除いた土（除去土壌）はどうなるの？

除染って？土を取り除くって？

除去土壌の再生利用ってなに？

**！データでなっとく！**

最終処分・再生利用に関する数値

最終処分率 49.5%

再生利用率 50.5%

再生利用の割合はこれまでから

環境再生プラザなど県内各所で配布しているほか、ホームページからダウンロードしてご覧いただくことも可能です。ご一緒に、過去に発行されたシリーズもぜひご覧ください！



まんが なすびのギモン 検索



環境省の情報発信拠点

見学会やイベント等の詳細につきましては、各施設にお問い合わせ下さい

● 中間貯蔵工事情報センター



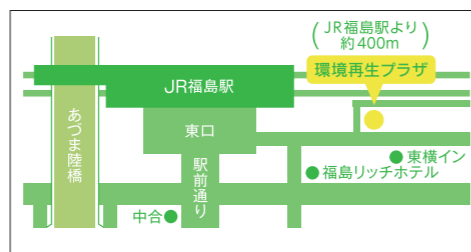
- 所在地 福島県双葉郡大熊町 大字小入野字向畑 256
  - 開館時間 10：00～16：00
  - 休館日 日曜日・月曜日、年末年始（月曜日が祝日の場合は翌平日）
  - 電話番号 0240-25-8377
- 中間貯蔵施設工事について紹介しています。毎月、中間貯蔵施設見学会（事前申込制）を開催しています。

● 特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま



- 所在地 福島県双葉郡富岡町 大字上郡山字太田 526-7
  - 開館時間 9：00～17：00
  - 休館日 月曜日、年末年始（月曜日が祝日の場合は翌平日）
  - 電話番号 0240-23-7781
- 特定廃棄物の埋立処分事業について紹介しています。毎週末には参加型イベントや実験教室なども開催しています。

● 環境再生プラザ



- 所在地 福島県福島市米町 1-31 1階
  - 開館時間 10：00～17：00
  - 休館日 月曜日、年末年始（月曜日が祝日の場合は翌平日）
  - 電話番号 024-529-5668
- 福島の環境再生への取り組みなどの情報を紹介しています。常駐している専門家による解説や相談などを行っています。

# ふくしま環境再生 Vol.31



中間貯蔵施設 双葉1工区の様子 (2024年1月末)

「ふくしま環境再生」では、環境省が進める環境再生事業や地域活性化事業などの情報を定期的にお知らせします。



環境省では、これまで多くの方々のご協力をいただきながら、除染や中間貯蔵施設の整備、放射性物質に汚染された廃棄物の処理を進めてまいりました。2023年度の環境再生事業について進捗状況をお知らせいたします。

## 除染・解体・仮置場

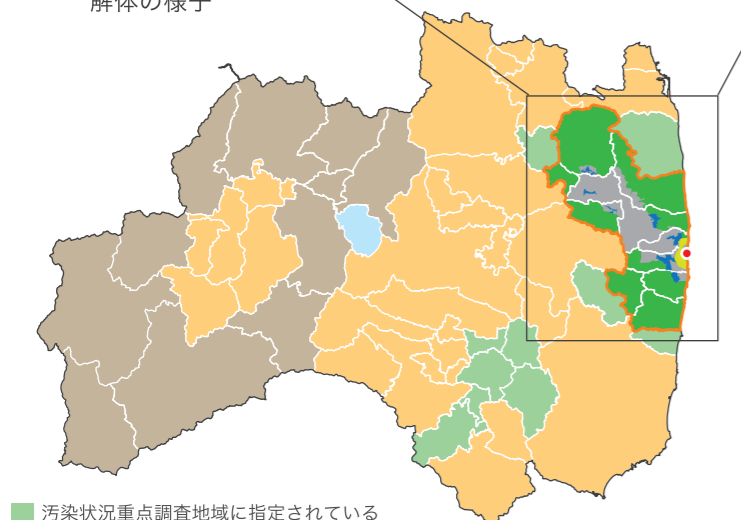
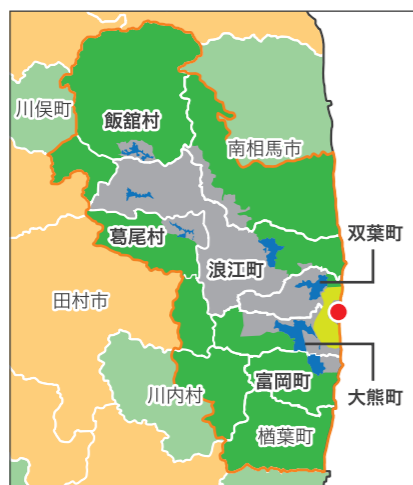
- 県内6町村(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村)の帰還困難区域内に定められた特定復興再生拠点区域において、除染と建物等の解体を行い、2023年には特定復興再生拠点の避難指示が解除されました。
- 帰還困難区域内の特定帰還居住区域における除染・解体等工事についても、しっかりと取り組んでまいります。
- 汚染状況重点調査地域について、当初、福島県内では41市町村が指定されていましたが、除染等を経て指定の解除が進み、2024年3月末で10市町村となっています。
- 仮置場は、搬出を終えたところから、原状回復・返地を進めているところ です。



除染の様子



解体の様子



- 汚染状況重点調査地域に指定されている市町村
- 汚染状況重点調査地域の指定が解除された市町村 (田村市の一部は除染特別地域の解除を含む)
- 除染特別地域
- 除染特別地域内のうち、面的除染が完了し避難指示が解除された地域
- 特定復興再生拠点区域
- 帰還困難区域
- 中間貯蔵施設
- 東京電力福島第一原子力発電所

## 中間貯蔵施設

- 福島県内の除染により生じた除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入は、帰還困難区域を除き2022年3月に概ね完了しました。
- その量はおよそ1,400万㎡で東京ドーム約11杯分と膨大です。中間貯蔵開始後30年以内(2045年3月まで)に福島県外で最終処分することが法律で定められています。

東京ドーム約11杯分



※1つは124万㎡の容積



中間貯蔵施設 (2024年1月中旬撮影)

### 現地見学会にぜひご参加ください

中間貯蔵施設と飯館村長泥地区における再生利用実証事業の2つの現地見学会を開催しています。実際の現場を見ていただくことで、除去土壌のいまを知っていただき、これからについて考えるきっかけにいただければと思います。

ご希望の方は、ホームページで詳細をご覧ください、必要事項についてメールまたは電話で事前にお申し込みください。

◎ お申込み・お問い合わせ窓口 ◎

✉ johocenter@jesconet.co.jp

☎ 0240-25-8377

中間貯蔵工事情報センター



中間貯蔵施設見学会



飯館村長泥地区環境再生事業見学会

## 廃棄物の処理

- 放射性物質に汚染された廃棄物(特定廃棄物)のうち可燃物は、仮設焼却施設等において可能な限り減容化を進めています。
- また、減容化後の焼却灰や不燃物は、既存の管理型処分場(特定廃棄物埋立処分施設[2023年10月に埋立完了]、クリーンセンターふたば[2023年6月に埋立開始])を活用し、埋立処分を進めています。



クリーンセンターふたば

特定廃棄物埋立処分施設

セメント固化処理施設

- 汚染廃棄物対策地域
- 特定復興再生拠点区域
- 帰還困難区域
- 中間貯蔵施設
- 東京電力福島第一原子力発電所

## 再生利用

- 最終処分に向けて、その量を低減するためには減容・再生利用が鍵となります。
- 再生利用について安全性の確認をしながら、飯館村長泥地区と中間貯蔵施設で実証事業を行っています。
- また、最終処分量を減らすための減容処理等に関する技術開発も進めています。

### 飯館村長泥地区における再生利用実証事業

- ▶ 飯館村内の仮置場から運搬した除去土壌を再生資材化した土を用いて造成した盛土実証ヤードにおいて、資源作物等の栽培試験等の実証事業を実施しています。
- 令和5年度は、水田の機能(安全性・透水性・地耐力等)を確認するために水田試験を行いました。
- 前年度の水田区画のほ場を畑地に転換して作物の安全性や生育性を確かめました。



農地盛土造成 (3工区)



ビニールハウス 花卉栽培



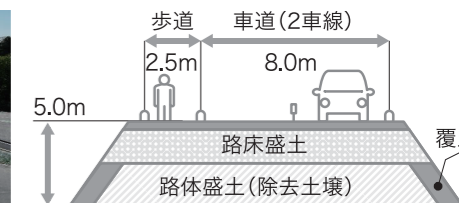
稲の刈取り

### 中間貯蔵施設における道路盛土実証事業

- ▶ 中間貯蔵施設用地を活用し、道路盛土への再生利用について実証実験を行いました。
- 除去土壌を再生資材化して盛土材として使用、その上に覆土し、道路を整備しました。
- 空間線量率は施工の前後で概ね変化はなく、安全性の確認を継続して行っています。
- 除去土壌の盛土作業中の空気中、及び盛土からの浸出水の放射能濃度は、いずれも検出下限値未満でした。



2023年10月3日 中間貯蔵施設内に竣工



構造イメージ

詳しくは、環境省の各サイトをご覧ください

除染の状況、特定復興再生拠点区域については

除染情報サイト



中間貯蔵施設事業や再生利用については

中間貯蔵施設情報サイト



特定廃棄物の埋立処分事業については

特定廃棄物埋立処分事業情報サイト

